

### ■運輸取扱収入の対前年推移（2014年3月期）

(参考) 収入配分変更について  
 ・取扱収入の内訳について、一定の前提をおいて配分しておりますが、より実態に即すため、「近距離」と「中長距離」の配分方法を見直しました。  
 ・下表に記載の数値は、参考として昨年度4月まで遡り、新たな配分方法に則って算出したものです。  
 ・なお、「運輸取扱収入」および内訳の「定期」に変更はございません。

	運輸取扱収入	内訳		
		対前年比 (%)	近距離 (%)	中長距離 (%)
4月	100.8	99.0	102.7	98.4
5月	101.6	100.0	103.1	98.5
6月	102.6	102.7	102.8	101.9
第1四半期	101.6	100.5	102.9	99.2
7月	102.9	100.5	104.8	99.3
8月	102.2	101.9	102.9	99.6
9月	104.5	101.6	105.3	105.0
第2四半期	103.2	101.4	104.3	101.7
上期計	102.4	100.9	103.6	100.4
10月	101.0	98.5	103.2	97.9
11月	101.8	101.1	102.6	99.5
12月	104.1	104.2	105.2	99.0
第3四半期	102.2	101.3	103.7	98.6
1月	101.9	101.3	102.7	100.1
2月	103.5	102.6	104.5	100.4
3月	125.5	109.6	109.6	191.0
第4四半期	111.4	104.8	105.9	137.0
下期計	106.7	103.0	104.8	117.2
年度計	104.5	102.0	104.2	108.4

※運輸取扱収入は、当社の駅窓口や自動券売機、当社管内の旅行代理店等で発券した乗車券類の金額です。なお、当社管内の旅行代理店で発券した乗車券類は団体旅行商品のみを対象としています。  
 ※運輸取扱収入は、JR他社やその他の鉄道会社等との間で清算を行う前の収入であり、消費税を含んでおります。当社の損益計算書に計上される運輸収入とは異なります。  
 ※"P"は速報値を表しています。(但し、当社管内の旅行代理店の実績を含みません)

### ■ご利用状況の対前年推移（2014年3月期）

	山陽新幹線				在来線	
	のぞみ/ みずほ (%)	ひかり/ さくら (%)	こだま (%)	合計 (%)	近畿圏 (%)	在来線特急 (%)
4月	98	103	107	99	100	99
5月	102	104	107	103	101	102
6月	101	104	112	102	105	104
第1四半期	100	104	109	101	102	102
7月	100	104	115	101	102	101
8月	103	100	109	103	104	101
9月	106	104	113	106	103	101
第2四半期	103	102	112	103	103	101
上期計	102	103	110	102	102	101
10月	103	99	114	103	100	100
11月	103	99	112	102	103	104
12月	107	102	115	106	105	107
第3四半期	104	100	114	104	103	103
1月	104	103	124	104	103	104
2月	104	101	113	103	103	101
3月	106	102	118	105	104	104
第4四半期	104	102	118	104	103	103
下期計	104	101	116	104	103	103
年度計	103	102	113	103	103	102

※新幹線は、新大阪～西明石間の断面輸送量の対前年比です。  
 ※近畿圏は、近距離券発売枚数の対前年比です。  
 ※"P"は速報値を表しています。